

○上下水道課

日 程	令和４年３月９日（水）
会 場	第２会議室
開 会	午前９時００分～午前９時３３分
出席委員	堺谷直樹（委員長）、成田光一（副委員長）、 三浦 敦、加藤彦次郎、高橋 満
欠席委員	なし
説 明 員	近藤課長、関補佐、阿部係長、近藤主席主査、三浦主任
No.	質疑応答の概要
1	一般会計 P121 合併処理浄化槽設置費補助金は、７人槽（６７万３千円）を１０基で積算しているとのことだが、令和３年度実績は。 答 ５人槽が６基の見込みである。
2	温泉事業特別会計 P11 光熱水費に関連して、温泉水の下水道使用料はどれくらいか。 答 １９０万円ほどである。
3	P11 温泉施設改良工事によって更新された配湯管の耐用年数は。 答 ３０年である。
4	水道事業会計 P32 配水管移設工事補償費が工事費より少ない理由は。 答 施設の減耗分が控除されるためである。
5	P33 宮ノ目配水管布設替工事（１８，７８０千円）に係る設計業務（５，２０３千円）は高額ではないか。また、単年度事業か。 答 国の指針に基づき、延長と管径等から積算している。なお、設計は令和４年度に、工事は令和４年度及び５年度の２年事業となる。
6	下水道事業会計 P24 下水道使用料は、令和３年度比で増を見込んでいるとのことだが、その根拠は。 答 下水道加入の啓発により、増を見込んだものである。
7	P37 最適整備構想策定業務の委託先は。 答 秋田県土地改良事業団体連合会である。

○建設課

日 程	令和４年３月９日（水）
会 場	第２会議室
開 会	午前９時４４分～午前１０時００分
出席委員	堺谷直樹（委員長）、成田光一（副委員長）、 三浦 敦、加藤彦次郎、高橋 満
欠席委員	なし
説 明 員	進藤課長、見上補佐、川村補佐、野呂田係長、梅田係長
No.	質疑応答の概要
8	P149 道路橋梁維持費の一般補修工事費において、山本地域拠点センター敷地内の 大型車庫解体工事を予定しているとのことだが、解体後はどうするのか。 〔答〕 令和４年度に解体を行い、令和５年度に新築する予定である。
9	P149 河川費の一般補修工事費の対象は。 〔答〕 上砂子沢川及び西又川の護岸補修である。

○商工観光交流課

日 程	令和４年３月９日（水）
会 場	第２会議室
開 会	午前１０時１１分～午前１１時３５分
出席委員	堺谷直樹（委員長）、成田光一（副委員長）、 三浦 敦、加藤彦次郎、高橋 満
欠席委員	なし
説 明 員	牧野課長、清水補佐、笹村補佐、田中係長、近藤係長
No.	質疑応答の概要
１０	P45 地域農産物加工・販売事業化支援施設利用料の利用者は。 [答] 令和４年度も令和３年度と同じ者が利用する予定である。
１１	P137 商工振興費の旅費においてＣＣＳ要望活動を予定しているとのことだが、要望先は。 [答] これまでと同じ経済産業省及び環境省のほか、資源エネルギー庁を予定している。
１２	P137 消費者行政推進事業講演会業務の詳細は。 [答] 町民祭において、消費者行政の啓発活動として、著名人による講演会を計画している。
１３	P139 中小企業等事業継続支援金の詳細は。 [答] 令和３年１１月から令和４年３月までのいずれかの月の売上高と、平成３０年１１月から令和３年３月までのいずれかの年の同月売上高とを比較し、２０％以上減少した事業者を給付対象とし、さらに３０％以上減少している場合は、加算額を加えることとしている。なお、申請期間は、４月中旬から６月を予定している。
１４	P139 地域商品券発行事業補助金について、販売方法は。 [答] 令和３年度と同様に、１人５万円を上限とした事前申込方式とする。なお、プレミアム率は３０％としている。
１５	P139 地域商品券発行事業補助金と、みたねポイントカード会消費喚起事業補助金は、事業効果の波及が同じではないか。 [答] 商品券の使用実績を分析すると大規模店舗での使用割合が高いため、小規模店舗等をフォローするために、ポイントカード会消費喚起事業を実施するものである。
１６	P141 ＣＭ大賞作品制作業務の委託先は。 [答] 近年は、三種町にゆかりのある能代市在住のユーチューバーに委託している。
１７	P141 特産品ＰＲ番組放映業務の委託先は。 [答] テレビ放送、ラジオ放送ともに株式会社秋田放送を予定している。

No.	質疑応答の概要
18	P141 指定管理委託料の見直しについて、ゆめろん等の社会情勢係数を「0.8」に設定した理由として、コロナ禍における観光入込客数が例年のおよそ8割であったためとの説明であったが、その人数は。 答 平成29年度から令和元年度までの平均が75万人台で、令和2年度は61万人台であった。
19	P141 ゆめろんの指定管理委託料に関連して、もみがらボイラーの効果はあったのか。 答 灯油使用料は、平成30年度の178kl（1,157万円・単価64円）から令和元年度が26klの減（1,051万円・単価69円）、令和2年度が52klの減（690万円・単価53円）、令和3年度見込みが60klの減（1,033万円・単価78円）と推移し、もみがらボイラーに係る経費は、令和元年度が60万円、令和2年度が267万円、令和3年度見込みが306万円となっている。令和3年度は、原油の高騰が見込んでいた経費の削減を上回ったものと捉えている。
20	P143 指定管理施設備品の内訳は。 答 ゆうばるは寝具の劣化に伴う更新で、サンバリオはグリーンぴあで販売している漬物を収納する冷凍・冷蔵ショーケースを購入するものである。
21	P145 サンドクラフトに係る地域活性化イベント事業補助金が令和3年度当初予算比で100万円増額された理由は。 答 型枠の交換費用が木材単価の高騰により増となったことや、サポート単管パイプのリースが見込めなくなったため購入せざるを得なくなったことが主な要因である。

○農業委員会事務局

日 程	令和４年３月９日（水）
会 場	第２会議室
開 会	午前１１時３８分～午前１１時４４分
出席委員	堺谷直樹（委員長）、成田光一（副委員長）、 三浦 敦、加藤彦次郎、高橋 満
欠席委員	なし
説 明 員	嶋田事務局長、岡係長
No.	質疑応答の概要
２２	P123 農業者年金活動謝礼について、詳細は。また、近年の新規加入者数は。 答 農協における農業者年金の加入・死亡の取扱い事務や農業委員による新規加入を促す啓発活動に対する謝礼である。なお、新規加入者数は令和２年度０人、令和３年度１人であった。

○農林課

日 程	令和４年３月９日（水）
会 場	第２会議室
開 会	午後１時０３分～午後２時０８分
出席委員	堺谷直樹（委員長）、成田光一（副委員長）、 三浦 敦、加藤彦次郎、高橋 満
欠席委員	なし
説 明 員	工藤課長、児玉補佐、小玉補佐、岩谷係長、大高係長、三浦係長
No.	質疑応答の概要
２３	P127 令和２年度決算の分科会審査において、金仏梅公園管理業務の今後の在り方を協議するとのことだったが、どうなったのか。 〔答〕 令和３年度においては協議できなかったもので、今後の課題としたい。
２４	P127 じゅんさい生産数量助成金の助成単価は。また、近年の生産数量は。 〔答〕 出荷者に３０円／kg、摘み手に２０円／kgである。なお、農林課で把握している生産数量助成で助成した数量は、令和２年度１４７．８t、令和３年度１３９．５tである。
２５	P127 じゅんさい圃場整備助成事業補助金の助成単価は。また、近年の利用実績は。 〔答〕 整備に要した経費の１／３を助成するもので、上限額は、新規・拡大の場合は３０万円／１０a、再生・補修の場合は１５万円／１０aとなっている。なお、平成３０年度は新規２件・拡大１件・再生０件・補修１件、令和元年度は新規３件・拡大０件・再生２件・補修０件、令和２年度は新規１件・拡大０件・再生４件・補修２件、令和３年度は新規０件・拡大０件・再生３件・補修０件の実績となっている。
２６	P129 農業次世代人材給付金について、農業を営む親の後を継ぐため、新規就農を検討する子は、当該給付金の対象外になる場合もあると聞いたが、どうか。 〔答〕 当該給付金は、親と経営を別にしなければならないという国の要件がある。そのため、農林課としては、準備型を活用した能代市農業研修センター等での研修（１０万円／月を助成）を勧めている。また、親の経営を継ぐ場合には、令和３年度予算の補正から新設された、経営承継・発展支援事業補助金に該当する場合もある。
２７	P129 米価下落対策飼料用米誘導支援助成金について、当町の転作の取り組みは、飼料用米へと誘導するのか。 〔答〕 三種町農業再生協議会総会において、令和４年産米で新たに２０８ha を非主食用米へ誘導することとしており、各方針作成者より取組者が不利益を被らないようにするための支援を要請されている。
２８	P129 草地畜産基盤整備事業負担金について、事業期間は。また、完成後は、何頭放牧できるようになるのか。

No.	質疑応答の概要
29	〔答〕 令和３年度から５年度までの３年事業である。現在は、２農家４６頭の飼育であるが、完成後は、３５～４０頭の放牧が可能と見込んでいる。 P133 ナラ枯れ対策費は措置されていないのか。 〔答〕 危険木伐倒処理業務委託料に含まれている。
30	P135 わかさぎ卵、うなぎ稚魚放流事業補助金について、何か所で放流されているか。また、放流後の生育調査等を行っているか。 〔答〕 ８か所で実施されていると認識している。なお、農林課では、放流後の追跡調査までは行っていない。

上記会議の次第を記載し、その相違ないことを証明するためにここに署名する。

予算特別委員会産業建設分科会委員長 堺 谷 直 樹